

(添付資料)

2009年の「日ロさけ・ます漁業交渉」の結果

1. 「日ロ漁業合同委員会 第25回 会議」結果

(1) 日本200海里における我が国漁船によるロシア系さけ・ますの漁獲割当量等

漁獲割当量 (トン)	漁業協力費
2,855 (内訳) カラフトマス 2,555 シロサケ 300	3.64~4.257億円 (2009年実績3.78億円)

(注) 漁業協力費については、上限と下限を定め、その範囲で漁獲実績に応じて金額を決定

(2) 2009年の水域別の操業隻数・漁獲割当量

水域	操業隻数	漁獲割当量 (トン)
日本海	0	0
太平洋	70	2,855

(注) 我が国漁船のうち日本海で操業する漁船については、当該水域の奇数年のカラフトマス資源が低水準であること等から採算に見合う操業が困難なため、全船が昨年は出漁を見送っている。

2. 「ロシア連邦の200海里水域における日本国の漁船によるロシア系さけ・ますの2009年における漁獲に関する日ロ政府間協議」結果

(1) ロシア200海里における我が国漁船によるロシア系さけ・ますの漁獲割当量

	漁獲割当量(トン)
総計	6,880
(内訳)	
ベニザケ	3,000
シロザケ	3,591
カラフトマス	155
ギンザケ	64.2
マスノスケ	69.8

(2) 操業隻数 31隻

(3) 入漁料 約21億円